

三重県史

通史編

原始・古代

目次

凡 序 口
例 絵

緒論 三重の歴史的風土 1

第一章 更新世・完新世の自然

第一節 旧石器時代の自然 7

一 日本が亜熱帯であったころ 7 二 海水準変動と段丘化の時代 8

三 旺盛な火山活動 17

第二節 縄文時代の自然 21

一 日本最古の土偶発見が語るもの 21 二 縄文海進と伊勢平野の成立 24

三 黒ボク土の成因をめぐって 29 四 縄文中期の寒冷化とその後の海進 35

五 縄文時代の動植物相 39

第三章 弥生時代の自然

- 一 弥生の小海退と低地の開発 40
- 二 米作りと稲作害虫の出現 42
- 三 人口集中に伴う環境汚染 44

第二章 旧石器時代の社会と文化

第一節 三重の旧石器時代

- 一 遺跡の分布と立地 51
- 二 後期旧石器時代の変遷 54
- 三 旧石器の石材 57
- 四 旧石器時代終末期の様相 60

第二節 発掘遺跡と遺跡群の展開

- 一 県内最古の遺跡 61
- 二 出張遺跡の発掘調査 62
- 三 拠点的な遺跡と周辺の遺跡群 66

第三章 縄文時代の社会と文化

第一節 縄文文化の成立と展開

- 一 斧とヤリを携えた人々 71
- 二 定住生活の萌芽と土偶の出現 74
- 三 一万三〇〇〇年前の千草越 77
- 四 押型文土器の系譜と展開 80
- 五 煙道付炉穴の普及 83
- 六 トロトロ石器 85
- 七 早期後半の遺跡相 87

第二節 縄文文化の発達

- 一 前期の様相 90
- 二 装身具の始まりと普及 92
- 三 中期の様相 95
- 四 遺跡の増加と拡散 97
- 五 石棒祭祀の始まり 99
- 六 黒曜石は語る 101

第三節 縄文文化の成熟と終焉

- 一 後期後半の様相 105
- 二 伊勢特産・朱の開発について 108
- 三 土器と石器の地域間交流 111
- 四 貝塚不在の謎 115
- 五 縄文時代の終焉 117

第四章 弥生時代の社会と文化

第一節 弥生文化の展開

- 一 水田稲作農耕の定着と展開 123
- 二 木製道具の生産と流通 124
- 三 道具の製作と素材の流通 127
- 四 衣類と装身具 132
- 五 多様な食料 133

第二節 集落の構造と建物群

- 一 環濠集落の成立と展開 134
- 二 集落の構造 136
- 三 建物と建築部材 138
- 四 集落群の形成 140

第三節 弥生時代の土器変遷

- 一 縄文晩期から弥生前期 142
- 二 弥生中期から後期 147
- 三 古墳時代前夜 152
- 鉄製品と青銅製品 156

第四節

- 一 鉄製品の使用 156
- 二 銅鐸の型式と分布 157
- 三 小銅鐸と銅鐸形土製品 162

第五節	様々な墓制と祭祀	163
一	新たな墓制の波及と方形周溝墓	163
二	方形台状墓と墳丘墓	168
三	祭祀遺構と遺物	169

第五章 古墳時代の社会と文化

第一節	古墳時代の到来と展開	177
一	古墳時代の幕開け	177
二	古墳築造の本格化と地域性	180
三	盟主的古墳の成立と推移	184
四	帆立貝式前方後円墳出現の頃	188
五	後期の首長墓	192
第二節	群集墳と巨石墳の時代	201
一	群集墳の出現	201
二	群集墳の展開	206
三	巨石墳の出現	216
四	古墳の終末	219
第三節	集落の発達と諸種の生産	223
一	県内古墳時代集落の様々	223
二	生産活動の諸相	231
第四節	葬送と祭祀の諸相	238
一	古墳の葬送	238
二	水場のマツリ	242
三	各種模造品を用いた祭祀	246

第六章 ヤマト政権と伊勢・伊賀・志摩

第一節	地域支配の形成	253
一	伊勢・伊賀・志摩の古代	253
二	畿内の東方地域	259
第二節	記・紀にあらわれた伊勢・伊賀・志摩	262
一	記・紀『風土記』と伊勢湾岸地域	262
二	ヤマト政権との交渉	271
第三節	伊賀・伊勢・志摩地域の豪族	275
一	伊賀地域の豪族	275
二	伊勢地域の豪族	277
三	志摩地域の豪族	284
四	三地域の豪族の特色	284
第四節	部民制と国造制	285
一	部民制	285
二	国造制	289
三	県造	294
四	律令制下の国造	295
五	大化改新と立評	297
第五節	壬申の乱と伊賀・伊勢	299
一	壬申の乱	299
二	壬申の乱と伊賀・伊勢	308
第六節	古代寺院の成立	311
一	県内の白鳳寺院	311
二	古代寺院の伽藍配置	313
三	屋瓦にみる古代寺院	316
四	瓦の需要と供給	320

第七章 律令国家の成立が及ぼしたもの

第一節	国郡制の成立と地域社会	331
-----	-------------	-----

一 国と郡と郷	331	二 伊賀国	338	三 伊勢国	340	四 志摩国	347
五 紀伊国牟婁郡東部	350						
第二節 統治機構の整備	351						
一 国府の設置	351	二 郡家と官衙的要素を示す遺跡	360	三 国分寺の創建	367		
第三節 文書行政の浸透	373						
一 古代における文書行政	373	二 伊賀国正税帳	375	三 伊勢国計会帳	382		
四 志摩国輸庸帳	389						
第四節 古代の交通	394						
一 七道制と駅伝制	394	二 三関の制と鈴鹿関	408	三 伊勢湾交通	416		
第五節 税制と物産	423						
一 民衆の負担	423	二 御食国志摩と紀伊国牟婁郡の贄	436				
三 伊賀国山作所の活動	449						
第六節 生業とまつり	455						
一 住居と集落	455	二 土器の生産と流通	457	三 神島のまつり	460		
四 土馬と斎串	462						

第八章 伊勢神宮と斎宮

第一節 伊勢神宮と斎宮の成立	475
----------------	-----

一 神話伝承とアマテラス大神	475	二 伊勢神宮の成立と斎王	488
第二節 古代国家における伊勢神宮と斎宮	499		
一 伊勢神宮と斎宮の確立	499	二 伊勢神宮の構造と神域	506
第三節 伊勢神宮と斎宮の制度と人々	514		
一 大神宮司と神宮職制	514	二 禰宜・内人・物忌の職制・由来伝承・氏族	520
三 斎宮寮の職制と離宮院	528		
第四節 伊勢神宮、斎宮に來た人々	532		
一 祭主と奉幣使	532	二 斎王の斎宮行路と仕事	537
二 斎王の斎宮行路と仕事	537	三 古代斎王の変遷	541
第五節 伊勢神宮、斎宮と祭祀	554		
一 神宮と斎宮の祭祀	554	二 遷宮祭と神宝・心御柱	560
第六節 伊勢神宮・斎宮の財政基盤とその後の変化	567		
一 伊勢神宮の財政基盤	567	二 斎宮寮の財政基盤	574
二 斎宮寮の財政基盤	574	三 神郡雑務と行政問題	578
第七節 伊勢神宮・神郡での諸様相	582		
一 伊勢神宮・神郡での諸問題	582	二 神宮の禁忌と仏教	590

第九章 斎宮跡の発掘

第一節 斎宮跡発掘の歴史	601
一 斎宮廃絶後の姿	601
二 斎宮跡の発見から史跡指定へ	603

三 実態解明に向けた計画的発掘調査	606
四 歴史博物館開設以後の調査研究	610
第二節 斎宮跡発掘調査の成果	616
一 遺構が語る斎宮跡の実像	616
二 特徴的な出土品の数々	630

第十章 平安時代の地方政治と社会経済

第一節 公領・荘園制と伊賀・伊勢・志摩	643
一 地方社会と国衙・在庁	643
二 平安時代、伊賀・伊勢・志摩の国政	651
第二節 権門寺社の進出と地方領主	659
一 平安期荘園の拡大	659
二 権門寺社所領の分布と概観	663
三 条里による土地の把握と公証	679
四 荘園の「免」と「職」	688
第三節 神郡の成立と神宮神人の活動	696
一 神祇官司としての伊勢神宮	696
二 神宮を取り巻く社会と経済	705
第四節 伊勢平氏	714
一 平氏の一流—伊勢平氏	714
二 正盛の頼田荘寄進	730
第五節 民衆を取り巻く世界	741
一 平安後期の歴史環境—三つの事例	741
第六節 人々のくらし	747
一 集落の様相	747
二 施釉陶器の普及	751

三 暗文のある土器と黒色土器の分布	753
四 製塩遺跡と製塩土器の分布	754
五 和鏡のまつり	756
六 経塚の造営	757

第十一章 宗教文化と文字の広がり

第一節 仏教文化の移植	769
一 古代国家と仏教文化	769
二 古代仏教と地方社会	777
三 仏教と神祇の結びつき	784
第二節 地域による仏教導入	792
一 果域出身僧の活躍	792
二 地域勢力による仏教導入	798
三 平安後期の新動向	805
第三節 新しい地域づくりと仏教	810
一 写経と地域社会	810
二 仏像に籠めた願い	822
三 経塚と平安末期の伊勢地域	829
第四節 宗教文化と社会生活	836
一 伊勢国の式内社	836
二 伊賀国と志摩国の式内社	842
三 社格と神階制	845

執筆者一覧
協力者一覧
あとがき
図版・表の出典等一覧

次
口絵目次

- 目
- 1 神子柴系石器群（高皿遺跡出土）
 - 2 天白遺跡の配石遺構群
 - 3 朱付着の磨石・石皿（森添遺跡出土）
 - 4 白浜遺跡の堅穴住居跡
 - 5 野田銅鐸
 - 6 形象埴輪（常光坊谷4号墳出土）
 - 7 高倉山古墳の横穴式石室
 - 8 城之越遺跡の大溝
 - 9 花の窟神社
 - 10 伊勢国計会帳写・裏書（『天平十年正税帳』）
 - 11 神島（鳥羽市）
 - 12 伊勢国府跡のS D 23倒壊瓦群
 - 13 内宮正殿

目次

- 14 黒田莊出作名官物成目注進状
- 15 斎宮跡出土墨書土器・刻書土器
- 16 朝熊山経塚群出土陶製経筒